

ノーチャイム

御宿 希祐 (平成 27 年度卒業生)

このたびは那加中学校創立 70 周年誠におめでとうございます。  
 私の家は、祖母、父、私の三世代がこの那加中を卒業しました。とても長い歴史を感じます。  
 私は平成 27 年度前期生徒会の会長を務めさせていただきました。その年度始め、それまでは始業のチャイムがなかったのですが、生徒の統制がとれなくなったという理由で学校側が始業のチャイムを鳴らすということを決めました。「ノーチャイム」というのはその当時那加中の伝統でもあり、誇りに思っていたので、再び「ノーチャイム」にしたいという私の意向に多くの仲間が共感してくれ、キャンペーンを行い時間に敏感な那加中を取り戻そうと働きかけました。そして、任期中に「ノーチャイム」にすることができました。その時の達成感と感動は、今でも鮮明に覚えています。  
 生徒の声を形にする。主体性を掲げている那加中ならではのことであり、私は貴重な経験をさせて頂いた那加中にとっても感謝しています。  
 今後も生徒の力でより良く新しい那加中の伝統と歴史を創り上げていかれますことを心から祈念しております。

恩師のたより

平成 27 年度  
卒業生の思い出

横山 克義 (平成 27 年度 3 年学年主任)

まず一番に思い出すのは、保護者の方の協力です。1 年生では自然の家への荷物運びをしていただきました。2 年生では親子逆転体験にとっても多くの方が参加していただきました。保護者のご協力のおかげで、様々なことがスムーズに進むことができました。  
 生徒も負けず劣らず、様々な行事に積極的でした。1 年生体育祭では那加ダンスを楽しく踊りました。授業の研究授業を何度も行いましたが、授業での話し合い活動も積極的に行い、他の学校の先生からお褒めの言葉をたくさんいただきました。2 年生の 6 月には、平和の折り鶴を競争して折り、紙が足らずに保護者の方のご厚意で紙を準備していただき、全学級が数千羽づつ折りました。  
 掃除・合唱・学習を三本柱として、「行事は日常から」を姿で示した 3 年生でした。けんかや困ったこともありましたが、バイタリティあふれる学年でした。楽しい 3 年間でした。ありがとうございました。



主体性あふれる学校

土田 倅平 (平成 28 年度卒業生)

全校を引っ張るリーダー、生徒会と聞いて大変で重みのある仕事だと思う人が多いかもしれません。しかし私は生徒会だからこそその楽しさや達成感があると思います。  
 私が行った生徒会活動の一つに「あいさつレンジャー」と言うものがありました。その活動を通して、私は、挨拶をすることで那加中と地域がつながる楽しさを感じました。また、生徒会は那加中の為だけでなく、地域のためにあると言う事を知りました。  
 学校行事の体育祭では、練習から全校を引っ張り、成功へと導くことはとても大変でした。しかし、成功した時の感動や達成感、大変だったからこそ味わえたものと思います。  
 また、私たち生徒会が、自由に企画したり行事を楽しむ事が出来たのは、那加中学校という環境が何よりも主体性を重視していたからだだと思います。そのような環境で生徒会活動ができた事、それが私が中学校生活を充実して過ごすことができた一番の要因だと思います。

恩師のたより

那加中 3 年間で胸に 辻 卓也 (平成 28 年度 3 年 1 組担任)

私は、君たち (平成 28 年度卒業生) の入学と同じ年に那加中学校に赴任しました。君たちと共に那加中学校 3 年間で過ごしました。私にとって初めての 3 年間持ち上がりは、一生の宝物です。名古屋研修・車山研修・修学旅行・体育祭・卒業式…どの行事を思い出しても、君たちの笑顔が浮かんでいきます。その笑顔までに必死で仲間に話したり、仲間と共に練習したり、泣いたりした姿も浮かんでいきます。  
 その中でも特に、思い出すのは「合唱」です。句うみどりの麦の丘 桑の細枝の芽吹きにも… 1 年生の時に全力で歌う塩内太一さんと土田倅平さんの姿を見て、私もこの二人に負けないように校歌をいつも全力で歌おうと 3 年間歌い続けてきました。那加中の組曲地球『青い星』『緑』『そして愛』も大橋先生や宝壺先生と共に歌い上げてきました。体育館や音楽室で何度も繰り返した合唱練習も忘れられません。楽しかったです。3 年生最後の合唱祭も全クラス金賞でした。君たちの素晴らしい合唱を 3 年間全て聞けたことが何よりも幸せでした。仲間と一つになるって難しいですが、いいものですね。  
 これからも、那加中学校の合唱が、仲間と一つになる喜びをたくさん生み出してほしいと思います。さあ、君たちは那加中 3 年間で胸に大きく飛躍してください。応援しています。

